

▼事業所の取り組み

日野病院にカリンとフーガがやってきた！

警察犬が取りもつ縁で、人とのつながり、支え合いのこころを日野に

日野病院組合 日野病院

看護局長

小村 裕美子



一日看護局長を委嘱された
カリン（左）とフーガ

んをはじめ、地域の皆さんにも、楽しいひとときを体験していただきたいという思いで、毎回幅広く声をかけています。

皆さんの素晴らしい笑顔に看護師も感激

私たち看護師は、患者さんがかわいいカリンとフーガを見てほほ笑む優しい笑顔が見られたり、「ひと目見てみよう」とベッドから起きて車いすで会場まで来てくださった患者さんや、部屋から出ることができないけれど「犬が大好きだ」という患者さんにはお部屋で撫でてもらい、患者さんの本心に癒される瞬間の素晴らしい笑顔をたくさん見させていただきました。

日野病院でも、私たち看護師が一人一人のかけがえない命を大切に思う心、支え合いの心を、皆さんと共に考えられるよう企画しました。

日野病院では、入院患者さん、ご家族、外来患者さ

ました。少子化が進むこの町で、子どもたちの喜んだ顔や楽しんでる声に触れてもらえるチャンスでもあり、今回はひのっこ保育所の子どもたちが大活躍。

会場では「カリンとフーガもかわいかったけど、子どもたちがかわいくてパワーをもらいました」と、言ってくれた方も多くおられました。子どもたちに感謝です。カリンとフーガが取り持つ縁で、地域の皆さんにも楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

笑顔があふれ、安心して暮らせる大きな力になる

病院という制約のある空間と病気であるという制約のある生活を、前向きな気持ちに切り替えることができるきっかけになり、カリンとフーガの話題でそれぞれの病室や家庭が楽しい笑い声でいっぱいになったのであれば、私たちのイベントは大成功です！

今回のイベントでは、本

していただき感謝していただきます。うれしい言葉もたくさん頂きました。この看護の日イベントを通じ、地域の方々が一人一人を大切に思う心と、支え合いの心を大切にされていることを、あらためて強く感じました。

私たち看護師は、この地域が笑顔と笑い声であふれ、皆さんが安心してこの地で暮らしていくために、もっともつと皆さんのお役に立つ大きな力になりたいと思いました。



中庭には、ひと目見ようと多くの人が集まる

5月10日、看護の日のイベントを日野病院で開催しました。そこで、愛玩犬では日本で初めて警察犬に合格したトイプードルのカリンとフーガを『一日看護局長』として招きました。

命を大切に思う心と、支え合いの心を届けたい

看護の日のイベントとは、ナイチンゲール生誕の5月12日を含む1週間を看

▼学校での取り組み

身近な人権について考え、思いやりの心を育む
各学校の人権学習を覗いてみましょう

小学校

●人権の花運動（5月）

各小学校で「人権の花」運動に取り組んでいます。
児童は、この運動を通して、地域の異世代とのふれあい活動やボランティア活動に取り組み、人とかかわり方、花という生き物の世話を通して、思いやりの心を学びました。
各学校にはきれいに咲かせた花があふれています。



黒坂小学校の様子

●人権教育参観日（10月）

小学校では、部落差別をはじめ、さまざまな人権に関する問題に気づき、その問題解決に向け、自ら取り組む力を育てようと、人権教育が行われました。
その様子を保護者や教育関係者に見ていただき、一



積極的に発言する（根雨小）

緒になって課題解決に向かう機運を作ろうと、参観日を行っています。
積極的に学習する児童の姿に、関係者は今後の人権教育のさらなる発展を期待しました。



1年生も一生懸命学ぶ（根雨小）

中学校

●PTA人権教育講演会（6月）

6月26日に、日野中学校図書室で平成24年度PTA人権教育講演会が開かれ、講師に元大山町教育長 山田晋さんが、「思春期の我が子との関わり方について」と題して話されました。

●人権弁論大会（10月）

学級人権弁論大会を行い、クラス全員が人権について、お互いの思いを発表し合われました。11月4日の中学校文化祭では、それぞれの学級の代表が人権弁論、学年ごとに人権劇を披露しました。

●人権教育参観日（11月）

11月14日には、人権教育参観日が行われ、全クラスの公開授業と、それぞれの学年で懇談会を行いました。